

事業所名 イロドリ飛高

公表日 令和7年3月31日

利用児童数

16名

回収数

14名

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	1				ワンフロアの閉られたスペースなので、空欄づくりを工夫していますが、どうしても難しい場面があります。例えば廊下で鬼ごっこがしたいと言っても対応できません。そのような時にはここでできる別の遊びを提案させていただいております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14					毎日掃除や消毒をして、気持ちよく利用できるよう努めております。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14					発達障がいの基本だけでなく次々にアップデートされていく情報も取り入れた研修会を行っております。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10			4		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	3	1	1	9	幼稚園と並行通園のため、特になくても大丈夫です。	児童発達支援サービスを利用していると知られたくないお子様もいらっしゃるため、交流は難しいと思います。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	1		2	送迎時にサインをしたり、家で確認するスタイルですが、今のままで良いと思います。	面談希望をされた保護者様は面談をさせていただいております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	2		1	プリント等で情報はありますが、直接は話し合う研修会はありません。	研修会参加の有無をアンケートとらせていただきましたので、今後希望された保護者様にどのように開催していくか提案できるよう話し合っています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	14				帰りに今日あったことを教えてもらえます。	連絡ノートや写真、送迎時に口頭でお伝えさせていただいております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14				連絡ノートに心配事を書くこと丁寧な返事をもらえます。	連絡ノートにお子様の様子を書いていただくと支援のきっかけにもつながり、とても有難いです。お忙しい中記入してくださり、ありがとうございます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	1	2	6	父母会はないと思います。	保護者参観や面談等は行っておりますが、保護者会は開催できておりませんので検討していきます。
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14					
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13			1	いつも保護者への配慮をしていただき、ありがとうございます。	こちらこそ、ありがとうございます。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	1		1		

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	1		避難訓練を行った等の連絡はありますが、ここまで多くのマニュアルがあるかはわかりません。	地震や災害、火事やJアラート等、様々な想定をした訓練を行っておりますが、マニュアルの有無はお知らせできていないかもしれません。適時お伝えしていきます。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12			2	防災リュックの中身チェックをしたり、実際の非常時の食事をクッキングしたり、防災訓練も月1回は行っております。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13			1	事故等を経験していないので、まだわかりません。	様々な状況で起こりうる事故を想定して、起きないよう研修会を行っております。例えば運転手講習を行い、安全な運転を心がけています。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	14					
満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14				いつも楽しみに通っています。	ありがとうございます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14				いつもありがとうございます。	ありがとうございます。

事業所名	イロドリ飛高		公表日		令和7年3月31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		ワンフロアなので、仕切り等を活用して、遊び場やおやつスペースの確保をしております。	ワンフロアだと音が響いてしまうので音が苦手なお子様用にイヤーマフを常備したり、視覚を遮るためのパーテーションを使用したりしていますが、どうしても限界があります。過ごしやすい空間になるよう環境整備を随時工夫していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		多めに配置し、安全性や支援力向上に努めています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日、利用児童が帰ったあとにフロアやおもちゃ等を掃除しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		毎週水曜日午前はミーティングや研修会を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		自己評価表以外にもアンケートをとらせていただきました。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		イロドリグループが集まり、ペアレントトレーニング、防災、身体拘束・虐待予防研修や食中毒や感染症予防研修、アンガーマネジメント、人間力向上研修等、幅広い研修を行っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		毎週ミーティングで個々の支援方法や経過を話し合っています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	3		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		利用児童が楽しく学べるように、毎日飽きない活動を考え、実施しています。また、実施した内容は都度写真をお渡ししています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎日行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	毎日行っています。口頭でのミーティングだけでなく職員間の連絡ノート等でも共有しています。お休みの先生には出勤時に詳細を共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		管理者と対象児童と関りが深い職員も同席し、参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		個々の特性に合わせて、自立できるよう支援をしています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		適時、書面や電話連絡・ケース会議等行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		適時、ケース会議等行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	7			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	4		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4	3	管理者が参加しています。参加した内容はミーティング時に話しています。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	4		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7		地域の催し物に参加したり、イロドリグループで交流したりしています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		現在、ペアレントトレーニング研修参加の欠けをとらせていただきました。イロドリ通信では毎月情報を発信しています。	来年度ペアレントトレーニング研修会を行っていきたく考えています。
	保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		
36		児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		面談や参観日、イベントを設けています。	
37		「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
38		定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
39		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7			保護者様が交流できる場をどのように設けていくか話し合っている最中です。
40		こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1	その日のうちに迅速に対応します。	

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		毎月イロドリ通信、不定期でえほんだより等を発行しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		わかりやすい言葉で伝えたり、口頭だけでなく文字で伝えたりしております。また、外国人の利用者様には簡単な英語や母国語でサポートさせていただいております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	3	訓練を活動に取り入れて実施しています。マニュアルもあり、訓練をしています。	マニュアルがあることを保護者様へお知らせはしていないので、今後お伝えしていきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		見学時やアセスメントで聞き取りさせていただいています。発作等持病があるお子様の場合は緊急時に対応できるようマニュアルを作成しております。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	3	アレルギー表を事務所付近の目に入ることにより掲示し、いつでも確認できるようにしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			十分にお知らせができていない部分があると思いますので、おたより等でもお伝えしていきたいと考えています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	7		実際に起きていない事柄でも、起きてしまうかもしれない想定をして予防や対策をしています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		委員会を設置しており、定期的な研修会を行っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	イロドリ飛高			
○保護者評価実施期間	2025年2月25日		～	2025年3月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間	2025年3月1日		～	2025年3月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月25日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員ひとりひとりの支援力、専門性の高さです。	イロドリグループで研修会を行っていたり、飛高でも研修会をしたりして支援力を高めています。また、日頃から疑問に思ったことはその日のうちに、その場で解決できるように努めています。	これまで通り研修会を行いつつ、支援のサポート力を高めていきます。保護者様の日頃の疑問を解決できる場を増やしていきたいと考えています。(ペアレントトレーニング研修)
2	お子様を安全かつ楽しく過ごしながら、遅く生きる力をつけていけるよう支援しています。	職員を多めに配置して、見守りの目を増やしています。また、楽しい活動の常に考え、どうやって力をつけていくか職員全員で話し合い進めています。	お子様が飽きないように、身体を動かす運動・クッキング・おでかけ・季節の制作・食育など行っておりますが、音楽などまだ取り組んだことのない活動を取り入れ、活動のバリエーションを増やしていきたいと考えています。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご意見いただきました、緊急時の各マニュアルの周知について。	これまで様々な災害を想定した訓練を行い、都度、写真やイロドリ通信でお知らせしてまいりました。各マニュアルの有無についてはお伝えできていなかったと思います。	実際どのようなマニュアルがあっとう訓練しているか等を、どのような形ですべていただくか検討したいと思います。
2			
3			